

### 3歳児 森の組・川の組

(20名) (20名)

保育研究シート

2024年2月9日(金)

(担任) 灰谷知子・伊藤綾子・戸田実穂

#### 1. 子どもたちの姿

入園当初は不安や緊張でいっぱいだった子どもたちだが、5月頃からお山(園庭高台)に教師と一緒に出かけ、身体をのびのび動かすようになり、表情がほぐれていった。そのお山で採れたびわを年長児は保育室に何度も届けて食べさせてくれた。食べさせてもらう、手伝ってもらう、遊びを見せてもらうなど、年長児の優しさに触れたことは、子どもたちの安心感につながった。そして3学期の今、子どもたちが、自分のやりたいことや気持ちを、動きや言葉で素直に表す姿からは、幼稚園が自分の場所になってきたことを感じる。

身の回りのものを使い、遊びに必要なものや場を作りながら、友達と一緒に遊ぶことがどんどん楽しくなっている。教師も一緒にイメージの世界やなりきって遊ぶことを楽しみ、関わりが広がっていくように支えている。

また、自分のやりたいことを思うように実現できない、一緒に遊ぶ友達が違うことをするなど、戸惑うこともある。その時々の子どもの思いを受けとめ関わりながら、その人らしさを十分に発揮し、一人ひとり違うけれど、友達と一緒に嬉しいと感じていけるように願っている。

#### 2. 子どもたちへの願い(かかわりの視点から)

##### \*自分とのかかわり ~戸外でのびのびとからだを動かして遊ぶ~

寒さに負けず、からだを動かす気持ちよさ、ぽかぽかと温かくなってくる感覚を味わい、戸外で過ごす楽しさや冬ならではの自然を十分に味わってほしい。

##### \*人とかかわり ~自分の思いを表しながら、いろいろな友達と関わって遊ぶ~

友達と一緒に遊びたい気持ちが伝わってくる一方で、違いに戸惑う姿もたくさん見られるようになってきた。自分の思いに気づき、相手にも思いがあることを感じつつ、友達と遊ぶ楽しさをたっぷり味わい、関わりを広げていってほしい。

##### \*もの・こととかかわり ~身の回りのことに自分で気づき、丁寧に取り組む~

つくったものや場、そこから伝わるイメージを感じながら、友達や教師と関わり合って遊ぶ面白さを味わってほしい。身支度など、自分自身のことを自分なりにやろうとしている姿が見られるようになってきている。できる嬉しさを喜び、自信につなげていってほしい。

#### 3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ~9:10	登園 挨拶・手洗い 好きな遊び ままごと・井形ブロック・ 電車・積み木・描画・製作・ ごっこあそび 砂場・固定遊具・おいかけ っこ・かくれんぼ 劇や踊り(コート室)	・一人ひとりの表情や様子を受けとめ、身支度や手洗いを促す。 ・一人ひとりがやりたいことを表そうとする姿を受けとめ、遊び出せるよう援助する。 ・場やものを一緒に考えたり作ったりしながら、やりたいことや、友達との関わりを楽しめるよう支える。 ・遊びの中で、うまくいかずに戸惑う気持ちを素直に表す姿を受けとめ、自分や相手の気持ちを感じられるよう関わる。 ・ものや場を適宜整理し、落ち着いて取り組めるような雰囲気づくりを心がける。材料や道具の扱い方はその都度丁寧に伝える。 ・教師も一緒になりきって動きイメージを共有しながら、身体を動かす楽しさや気持ちよさを感じられるようにする。 ・4・5歳児との自然な関わりを大事にし、3歳児なりの楽しみ方ができるように、教師で連携して援助する。
10:25	片付け トイレ 身支度 ※靴持ち帰り  集まり 手遊び・絵本など	・片付けでは、場を整えて、すっきりした心地よさを感じて、降園する気持ちになっていくように援助する。 ・自分なりにやろうとする姿を認めつつ、週末の疲れが見られる場合は、教師も手伝い、身支度を整えられるようにする。 ・集まりでは、みんなで歌をうたう、絵本を見るなど、一緒に過ごす楽しさを感じられるように工夫する。
11:00	降園	・降園時は、全体の様子を見ながら個々に応じて関わり、落ち着いた雰囲気の中で帰ることができるようにする。

# <最近の遊びマップ>

## <砂場>

年長児の桶やシャベルに憧れて、使ってみながら水を流す。掘ったり、埋めたり、山を作ったり、ダイナミック!

## <砂場のとまり>

保育室からよく見えるこの場所。砂と水を混ぜて、おなべやコップで料理が人気。ゴザやベンチで場をつくと「どうぞ!」とやりとりが生まれる。

## <保育室>

### ごっこ遊び

イス、机、ままごとの台などものを運んで、並べて、場をつくるのが面白い! 気付けば人が集まり、おうちや警察署などのイメージで遊ぶけれど、やりたいうことが違ったり、ものを巡ってぶつかることもたくさん。

## <階段、

### 固定遊具>

ブロックの乗り物と一体となり、あちこちかけ回る。斜面はまるで秘密基地のようで「お気に入り」。

## <お山>

寒い日は「氷」がたくさん! 暖かい日はゴザをしいてピクニックやパーティー! 「いってきます」「きたよー」といろいろな人がゆるやかに行き来したまから過ぎる場。

## <保健室>

泣いている人、ケガした人がいると、急いで「渡邊先生を呼びに行くと自分たちで絵本を借りてくることもある。

## <コート室>

年長児の劇ごっこが始まるとじっと見ている。ドレスを着させてもらったり、真似して重かいてみたり、とにかく参加する人も増えてきた。

## <廊下>

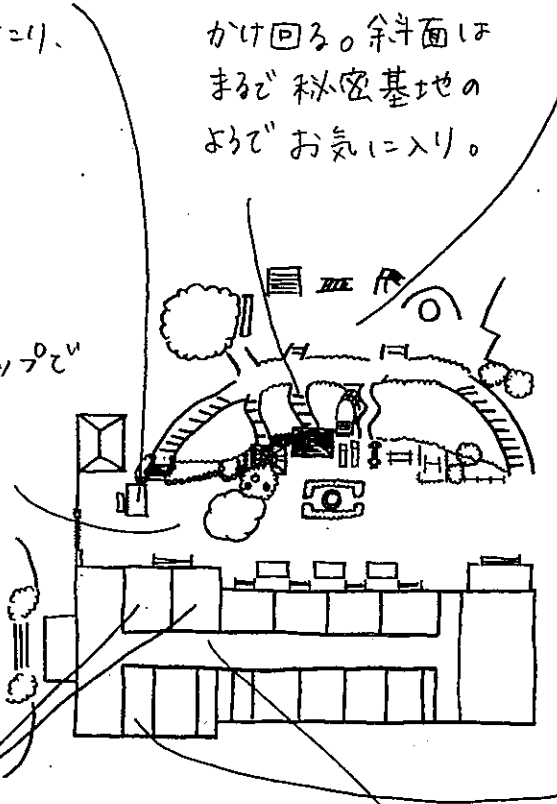
保育室からものを運び、おうちを数点にあちこちお出かけ。窓拭きのやりとりも喜ばせよう。

### 手回しゴマ

1人1つ持っている。誰かが始めると数名が集まり、一緒に挑戦!

### 製作・描画

「こつこつものをつくりたい」という気持ちがあちこち膨らんでいる。こうかな?と一緒に考えながらつくり、大事に使うたり、手手てり帰ったり。



前週の子どもの姿から

自分とのかかわり

・船、手裏剣、モルモットなど、作って遊ぶ姿が増えている。車に〇〇を乗せたい、もっと固くしたいに…など、やろうとしていることを一生懸命表す姿が多く、教師も一緒に考えながら応えている。  
 ・日ごとの気温差が大きいことや前週は行事の関係で変則的な生活の流れだったことなどもあり、疲れが見えたり体調を崩したりする子どももいた。今週も雪予報があるなど、寒さと乾燥が続くことが予想されるが、寒い時期の過ごし方を丁寧に伝えながら、元気に過ごせるように配慮していきたい。

人とのかかわり

・保育室ではままごとの遊具、机、椅子などを動かしてポリステーション、お山へ向かう階段ではごさや木製ベンチなどを運びこんでパーティーなど、たくさん物を運びこんで遊ぶ場をつくる姿がたくさんあった。楽しそうな場の雰囲気を感じて、さらにいろいろな子どもが物を運びこんでいくなど、物や場や遊びを通して、友達とイメージを重ね合い、つながりあっていく楽しさを感じている。  
 ・園庭で転んだ友達に「注射です、ちくんと」救急車が駆け寄ったことから、「ちくん」と言いながら友達を追いかける鬼ごっこが始まった。逃げる途中で見つけた落ち葉の山をかけ合ったり、穴を見つけてお風呂に入ったりと、出会うものや場を自由に取入れながら、友達や教師と一緒にイメージの世界の中で身体を動かすことを楽しんでいる。  
 ・場を共有して一緒に遊ぶ友達との関わりが広がる中で、友達が違うことをする、わかってもらえない、などと、友達との違いに戸惑い、怒ったりぶつかったりすることもある。「一緒に嬉しい」「それぞれ違っていい」、どちらも共存しながら、友達との関わりを楽しめるよう支えていきたい。

ものこととのかかわり

・砂、水、石、葉などを使つての料理作り、井形ブロックを使つての乗り物作りなど、身近なものを遊びに取り入れて遊んでいる。遊びのイメージを広げながら、友達や教師と一緒に場に囲んだり身体を動かしたりすることを楽しく支えていきたい。  
 ・親子体操では、保護者とのふれあいが嬉しくて仕方ない様子が伝わってきた。思い切り身体を動かしたり、歌ったりしながら、周りの人とつながり合っていく楽しさを、遊びの中でもたくさん味わってほしいようにしたい。  
 ・2月2日の節分に向けて、アトリエで鬼作りをする年長児の姿に気づく子どもはあまりいなかったが、「鬼がいたらどうする？」など遊びや子ども同士の会話の中で、ちらほらと鬼の話題が出ることもあった。少しドキドキする気持ちを共有しながら過ごす1週間だったようだ。当日は「やっぱり幼稚園に鬼はいなかったね」と降園準備をした頃に、太鼓の音。お庭を見るとたくさんの鬼。戸口のかかなり近くまで迫ってくるものの、優しい雰囲気鬼たちに向かって、「鬼は外！」と思いきり豆を投げた。

\*週のねらい

- 戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ
- 自分の思いを表しながら、いろいろな友達との関わりを楽しむ
- 身の回りのことに自分で気づき、丁寧に取り組む

環境の構成・教師のかかわり

○戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶように

・冬の自然の不思議さ(息が白くなる、霜がおりる、氷が張るなど)に気づく姿を受けとめ、友達や教師と一緒に味わえるようにする。  
 ・鬼ごっこやかくれんぼ、相撲など、子どもたちが興味をもった遊びをきっかけに、友達や教師と関わって遊び楽しめるようにする。  
 ・前週に親子で楽しんだ体操やわらべ歌遊びなど、2クラスで一緒に楽しめるような場づくりを工夫する。  
 \* 凧作り・凧あげ…風を感じながら思い切り走り、凧があがる感覚を楽しめるようにする。

○自分の思いを表しながら、いろいろな友達と関わって遊ぶように

・一人ひとりが自分のやりたいことを見つけ、言葉にして伝えたり、教師や友達と一緒に考えたりして、思い描いている遊びが進められるように援助する。  
 ・自分の思うようにならず葛藤している時には、その気持ちを受け止め、一緒に悩みながら、どうしたらよいかを考えていくようにする。  
 ・三和土や園庭、廊下、コート室など、2クラスが混ざり合い遊ぶ場を意識し、様々な友達と関わる楽しさが生まれるよう支える。  
 ・やっていることが友達に伝わりやすい物作りや場作りを支援、友達と気持ちを合わせて遊ぶ楽しさが十分に味わえるようにする。  
 \* コマ…いろいろな回し方や転がし方を試す、クレヨンで色を塗ってみる、色の変化を見る等、一人ひとりの興味を捉え、教師も一緒に楽しむ。同じコマを持っている嬉しさから、友達と一緒に遊んだり、2クラスが混ざり合ったりする楽しさが広がるように、段ボールや板などを場作りに生かす。  
 \* 製作…やりたいことに合わせて、画用紙・広告紙・新聞紙・小さい空き箱、小さな厚紙など、子どもたちが扱いやすい材料を適宜用意する。  
 一人ひとりのイメージを大切に、個々の取り組みが互いに見えるような場づくりや、一緒に作ることを楽しめるような雰囲気づくりをしていく。  
 \* 他学年との関わり…年中・年長の遊びに気づき、見せてほしい、一緒にやってみたくて興味をもつ一人ひとりの姿を捉え、教師も一緒に動く。

○身の回りのことに自分で気づき、丁寧に取り組めるように

・身の回りのことを自分なりにやろうとする姿や友達と一緒にやる姿を捉え、適宜手をかけながら、自分でできる嬉しさや自信につながっていくようにする。  
 ・寒い時はコートを着る、外から戻ったら水を飲んだり手洗いをしたりする、早めにトイレに行くなど、寒い時期の過ごし方を伝えながら援助していく。  
 ・片付けのときには、集まりや翌日の遊びにつながるような声かけをしつつ、きれいな保育室で落ち着いて集まる心地よさを積み重ねられるようにしていく。  
 ・弁当時は、友達や教師と楽しく食べる雰囲気大切に、片づけてお腹を休めてから再びやりたい遊びに向かえるように、個々に必要な援助をする。  
 ・降園時の集まりでは、紙芝居や絵本、簡単なゲームや歌など、みんなで過ごす楽しさを味わえる内容を工夫する。

5日(月)	6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)
9:00～15 登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする	9:00～15 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす	9:00～15 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす	9:00～15 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす	<公開保育研究会> 9:00～9:10 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす
園庭:園庭やお山で遊ぶ・砂場・おいかげっこ・かくれんぼ・凧あげなど 保育室:廊下・コート室:製作・ごっこ遊び・ウレタン積み木・劇遊び・井形ブロック・コマ回しなど	10:25 片付け、トイレ、手洗い 水分補給、身支度、集まり 11:00 降園	10:25 片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度、靴持ち帰り 集まり 11:00 降園	10:50 片付け、弁当準備 11:15 弁当 好きな遊びをする	10:25 片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度、靴持ち帰り 集まり 11:00 降園
公開保育に向けて打ち合わせ	公開保育に向けて打ち合わせ	園内研	前日準備 写真申込み締め切り	

うた・手遊び:「ゆげのあさ」「おしくらまんじゅう」など 絵本・紙芝居:「てぶくろ」 冬や雪など季節を感じるもの